

U.S. Indicators

発表日: 2024年2月28日(水)

米国 現状・期待とも低下(2月CB消費者信頼感)

～個人消費の緩やかな減速を示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 050-5474-7493)

24年2月のCB消費者信頼感指数は、106.7（前月110.9：改定前114.8）と▲4.2ポイント低下し市場予想の115.0（筆者予想114.8）を下回った。現状指数が147.2（前月154.9：改定前161.3）と前月比▲7.7ポイント低下したうえ、期待指数が79.8（前月81.5：改定前83.8）と同▲1.7ポイント低下した。所得の拡大や資産残高の増加が続くもと、エネルギー価格や金利の上昇を背景に下振れたとみられる。

2月のCB消費者信頼感指数は、予想に反して低下したものの、良好な労働市場や所得環境を背景に個人消費の緩やかな拡大を示す水準を維持しているほか、2月のミシガン大学消費者マインド（速報）が79.6（前月79.0）と小幅上昇したことから、24年1-3月期の個人消費の緩やかな減速を示唆していると判断される。

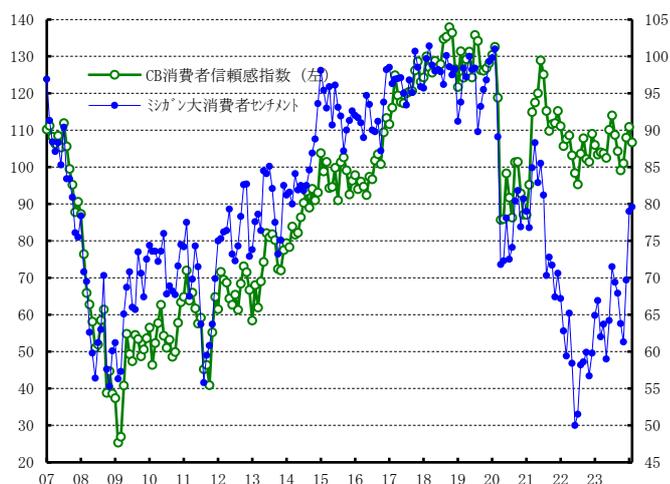
現状指数の構成項目では、「景気」、「雇用」がプラス幅を縮小した。現在の景気に対する判断（「良い」-「悪い」）が+4.1（前月+6.0：速報+8.3）とプラス幅を縮小、現在の景気に対する楽観的な見方を弱めた。また、現在の雇用機会に対する判断（「充分」-「困難」）が+27.8（前月+31.7：速報+35.7）とプラス幅を縮小、現在の労働市場に対する楽観的な見方を弱めた。現在の雇用機会に対する判断（「充分」-「困難」）がプラス幅を拡大すると、失業率が低下する傾向があり、2月の失業率が前月の3.7%から上昇する可能性のあることを示している。

期待指数の構成項目では、「収入」がプラス幅を拡大した一方、「景気」がマイナスに転じたほか、「雇用」がマイナス幅を拡大した。6ヵ月後の収入に対する見方（「増加する」-「減少する」）は、+5.6（前月+4.6：速報+4.9）とプラス幅を拡大し、収入に対する楽観的な見方を強めた。一方、6ヵ月後の景気に対する見方（「良くなる」-「悪くなる」）は、▲0.7（前月+0.7：速報+0.6）とマイナスに転じ、景気の先行きに対する見方が悲観的となった。また、6ヵ月後の雇用に対する見方（「多くなる」-「少なくなる」）は▲2.6（前月▲1.1：速報+0.7）とマイナス幅を拡大し、雇用の先行きに対する悲観的な見方を強めた。

消費者信頼感 (Consumer Confidence)

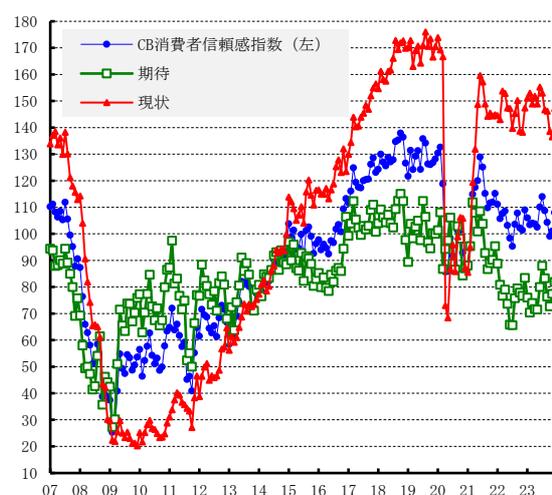
	消費者信頼感指数										ミシガン大学消費マインド*	
	期待指数	現状指数	雇用判断		半年後の景況感		半年以内の購入計画		期待	現状		
			充分	困難	良くなる	悪くなる	自動車	住宅				
23/04	103.7	71.7	151.8	47.5	10.6	14.1	21.4	10.0	5.5	63.7	60.6	68.5
23/05	102.5	71.5	148.9	43.3	12.6	13.2	21.4	11.5	5.9	59.0	55.1	65.1
23/06	110.1	80.0	155.3	45.4	12.6	14.6	17.7	11.0	5.9	64.2	61.1	68.9
23/07	114.0	88.0	153.0	43.7	11.3	17.2	14.5	11.7	5.6	71.5	68.3	76.5
23/08	108.7	83.3	146.7	39.9	13.2	17.5	17.3	12.3	6.1	69.4	65.4	75.5
23/09	104.3	76.4	146.2	39.7	14.2	15.3	18.7	11.7	5.5	67.9	65.8	71.1
23/10	99.1	72.7	138.6	37.9	14.1	15.5	20.9	10.3	5.0	63.8	59.3	70.6
23/11	101.0	77.4	136.5	38.6	15.6	17.2	20.1	10.7	5.0	61.3	56.8	68.3
23/12	108.0	81.9	147.2	40.4	13.1	18.7	17.8	11.9	5.3	69.7	67.4	73.3
24/01	110.9	81.5	154.9	42.7	11.0	16.7	16.0	10.7	4.8	79.0	77.1	81.9
24/02	106.7	79.8	147.2	41.3	13.5	14.8	15.5	11.4	4.7	79.6	78.4	81.5

(図表) 消費者マインドの動向(月次)



(出所) CB、ミシガン大学

(図表) 消費者マインドの動向(月次)



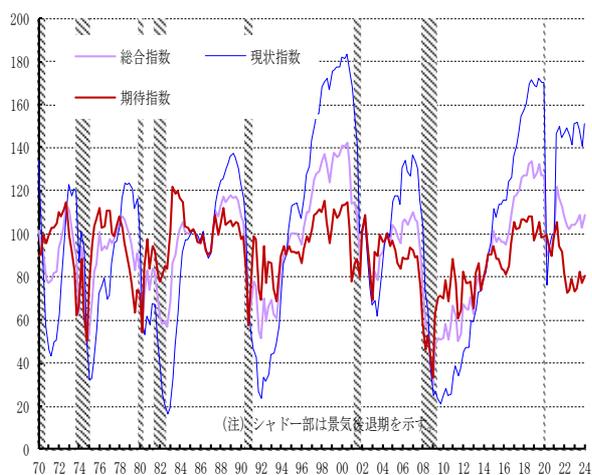
(出所) CB

インフレに関しては、1年先のインフレ見通しが5.2%（前月5.3%）と依然高い上昇が予想されているが、低下傾向を辿っており、インフレの低下継続を示唆している。



24年のCB消費者信頼感調査では、利下げ期待の高まりを受けた長期金利の低下や、景気の先行きに対する楽観的な見方等が、期待指数の上昇に繋がる可能性が高い。一方、これまでの利上げや中堅銀行の破綻を受けた信用状況の引き締め、コスト増加等を受けた景気の減速、労働需給ひっ迫の緩和を背景に、現状指数が低下すると見込まれる。この結果、CB消費者信頼感指数は100程度に低下し、個人消費の緩やかな減速の一因になると予想される。

消費者信頼感指数の推移(四半期)

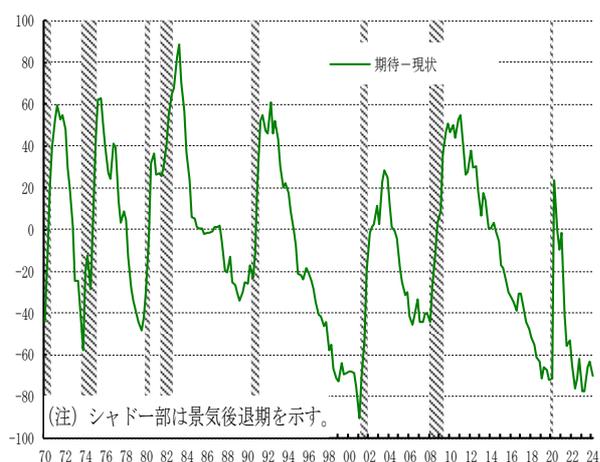


消費者信頼感指数の推移

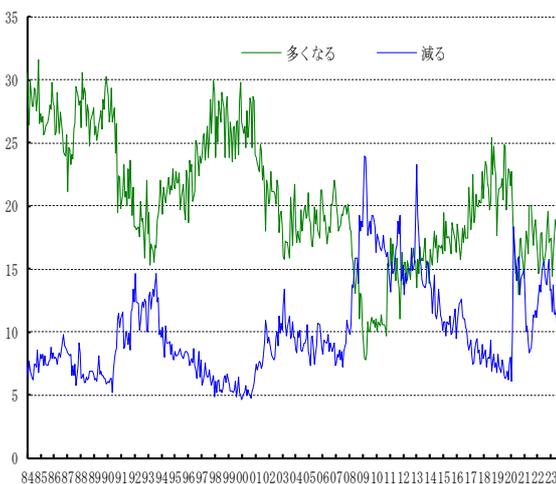


(出所) C B

(期待指数-現状指数)の推移



(%) 6ヶ月後の収入見通し



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

